

平成28年度滝沢市地域公共交通網形成計画（案）策定業務  
路線バス乗り込みOD調査 調査結果

平成28年 11月

滝沢市 都市整備部 交通政策課

路線バス乗り込み OD 調査 調査結果

- 目次 -

---

<b>1. 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1-1 調査目的 .....	1
1-2 調査の対象 .....	1
1-3 調査の時期 .....	1
<b>2. 調査項目の方法</b> .....	<b>2</b>
<b>3. 調査項目の設定</b> .....	<b>3</b>
<b>4. 調査結果の概要</b> .....	<b>5</b>
4-1 アンケート結果 .....	6

# 1. 調査の概要

## 1-1 調査目的

市内を運行する路線バスの利用実態（利用目的・利用バス停・支払い方法等）を把握するために、調査員が路線バスに乗り込み、利用者に調査カードの直接配布による利用者 OD 調査を実施する。

## 1-2 調査の対象

調査対象路線は以下の岩手県交通 7 路線、岩手県北バス 5 路線とする。

### 【岩手県交通】

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ① 滝沢小岩井線    | ② 松園北高線   |
| ③ 滝沢県立病院線   | ④ みたけ箱清水線 |
| ⑤ 滝沢駅・盛岡大学線 | ⑥ 巢子盛岡大学線 |
| ⑦ 巢子箱清水線    |           |

### 【岩手県北バス】※（）内は系統番号

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| ① はんのき県立大学線（C44）  | ② 巢子県立大学線（C43） |
| ③ 滝沢駅線（C45.46.51） | ④ 盛岡大学線（C04）   |
| ⑤ 滝沢駅盛岡農高線（C64）   |                |

※対象路線の選定根拠については後述

## 1-3 調査の時期

平日及び休日のそれぞれの動向を把握するため、平日・休日のそれぞれ 1 日調査を実施しサンプルを収集する。

平日：平成 28 年 11 月 2 日（水）

休日：平成 28 年 11 月 6 日（日）

## 1-4 調査対象路線の選定根拠

調査対象路線の選定については、以下の要件を全て満たす路線を対象とした。

なお、調査対象路線の選定に際しては、各交通事業者の平成 27 年度運行実績報告書に基づくものである。

- |  |
|--|
| ① 乗車密度が 5.0 人未満の路線であること<br>※旧制度(地方バス路線維持費補助制度)における第 3 種生活路線の位置づけ |
| ② 滝沢市内を運行する路線であること<br>※快速便等による市内を通過する路線は除外(高速を利用する路線など)          |
| ③ 平成 27 年度に調査を実施していない路線であること                                     |

## 2. 調査項目の方法

市内全路線・全便を対象にして、調査員がバス車両に乗車し、利用者一人ひとりに乗車の際に調査用紙（調査カード）を配布し、降車する際に回収する全数把握調査とする。

調査員がバス車両に乗車し、利用者一人一人に対して乗車時に調査用紙（調査カード）を配布し、降車時に回収する全数調査とする。

利用が多く見込まれる路線においては、回収漏れがないように、調査員を乗車口・降車口にそれぞれ1名ずつ配置する。

### ◆ 調査員配置イメージ

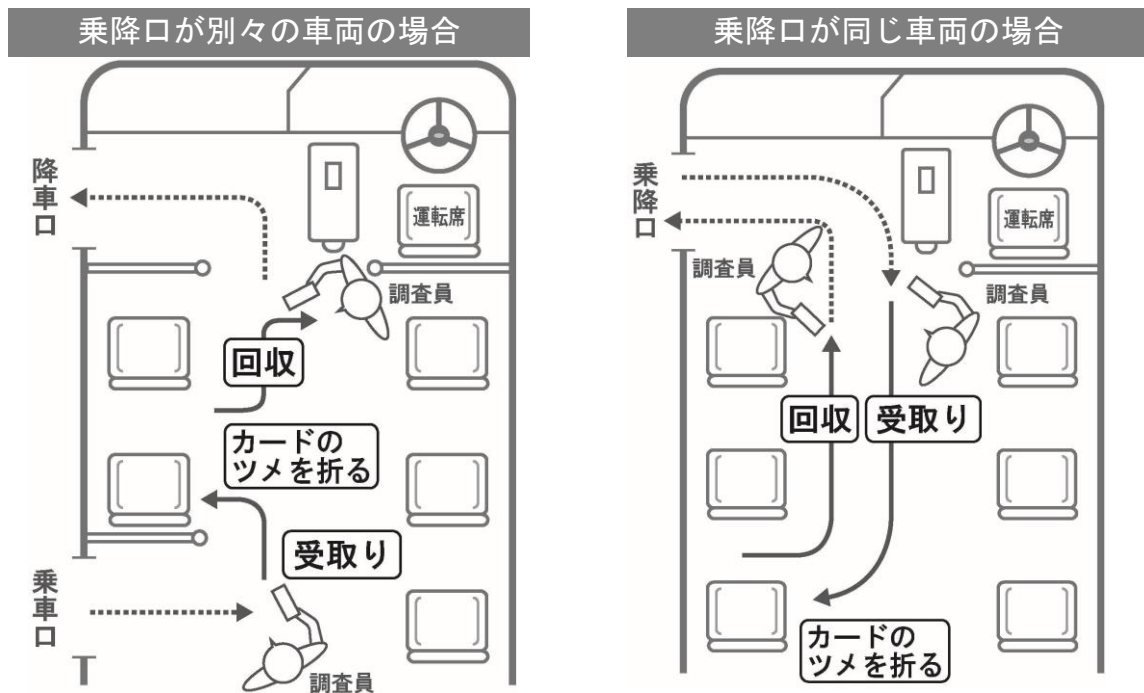


図 2-1 調査カードの配布イメージ（混雑時間帯）

### 3. 調査項目の設定

利用者の運賃の支払い方法、利用頻度、利用目的等の利用実態及び個人属性を把握するため調査用紙（調査カード）を作成する。

利用者の負担軽減や事故・トラブル等の発生防止のため、筆記用具を用いずにツメで折り曲げることが出来る調査カードを用いるものとし、乗降バス停等の記入が必要な項目については調査員が記録する。

調査項目及び設定のねらいについては下表に示す通りであり、調査カードのイメージについては次頁に示す。

表 3-1 調査項目

回答者・記入者	調査項目	設定のねらい
利用者が回答	運賃の支払方法	・ 支払い方法の把握
	最近のバス利用回数	・ 利用頻度の把握
	バスの利用目的	・ 利用目的の把握
	他の交通への乗り継ぎ	・ 公共交通の乗り継ぎ実態の把握
	本市に必要なサービス	・ 利用者が本市に必要と感じるサービスを把握
	年齢 性別	・ 個人属性の把握
調査員が記入	調査日時	・ 調査日時の特定
	仕業番号・調査番号	・ 調査路線・ダイヤの特定
	乗車・降車バス停番号	・ 利用者の OD の把握

◀オモテ面▶

◀ウラ面▶

**バス利用調査カード**

実施主体 滝沢市役所 交通政策課

バス利用調査にご協力お願いします

○裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。

○1便ごとの調査ですので、以前ご回答いただいた場合でもご協力ください。

調査員記入

調査日時  
平成 年 月 日 時 分 曜日

事業者番号

調査番号

乗車バス停番号

降車バス停番号

**バス利用調査カード**

以下の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込み、お降りの際に調査員にお渡しください。  
折り間違えた場合は、戻してください。

現金	<b>運賃の支払方法</b>	通勤・通学定期券
バスカード		その他 <small>(回数券など)</small>
週3日以上	<b>最近のバス利用回数</b>	月1~3日
週1~2日		月1回未満
通勤・通学	<b>バスの利用目的</b>	買物・私用 <small>など</small>
通院・通所 <small>など</small>		業務 <small>(通勤以外)</small>
鉄道(JR)	<b>他の交通へ乗り継ぎ</b>	いわて銀河鉄道(IGR)
路線バス <small>(他の路線)</small>		福祉バス <small>(滝沢市営)</small>
滝沢市役所付近へ 行ける交通	滝沢市民及び滝沢市 来訪者の方へ質問	地域主体の 地域内移動交通
鉄道駅への 輸送交通	<b>滝沢市に 必要な サービス (上位2つまで)</b>	予約制 ドアtoドア交通
定額制の 運賃設定		交通サービス間 の共通定期券
待合い環境 の整備・充実		鉄道とバスの 接続性向上
~14歳	<b>年齢</b>	50~64歳
15~18歳		65~74歳
19~29歳		75~84歳
30~49歳		85歳以上
男性	<b>性別</b>	女性

ご協力ありがとうございました

図 3-1 調査カード イメージ

4. 調査結果の概要

主体	路線名	平休	便数			乗車人数	利用目的				年齢								他の交通へ乗り継ぎ				概要	
			往路	復路	合計		通勤・通学	通院・通所	買物・私用	業務	～14歳	15～18歳	19～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	鉄道 (JR)	路線バス	鉄道 (IGR)	福祉バス		
岩手県交通	滝沢小岩井線	平日	1	1	2	0																		※調査日における乗車無し
		休日																						
	松園北高線	平日	1	2	3	35	85.7%	5.7%	8.6%	0.0%	0.0%	47.1%	2.9%	26.5%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%		通勤・通学による利用が約9割を占め、発着点は「盛岡北高前」「厨川中学校前」が多くなっていることから、盛岡北高の生徒の利用や青山駅付近の企業の従業員が利用しているとみられる。
		休日																						
	滝沢県立病院線	平日	3	3	6	45	16.3%	32.6%	37.2%	14.0%	0.0%	0.0%	2.3%	20.5%	29.5%	25.0%	22.7%	0.0%	7.1%	57.1%	35.7%	0.0%		滝沢市内から発着した利用者は全体の約2割程度であり、滝沢ニュータウン付近から青山地区付近への移動が多い。通院、買物の利用目的で利用されている傾向にある。
		休日																						
	みたけ箱清水線	平日	1	0	1	9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		滝沢市内から発着した利用者はいなかった。通勤・通学目的で利用されているおり、厨川駅や県立中央病院での発着が多く、他の路線との乗り継ぎがされている。
		休日																						
	滝沢駅・盛岡大学線	平日	16	18	34	229	95.9%	0.9%	3.2%	0.0%	0.0%	17.2%	69.6%	6.6%	5.7%	0.9%	0.0%	0.0%	12.5%	8.2%	78.8%	0.5%		利用者の約7割が大学生であると見られ、滝沢駅から盛岡大学・県立大学の発着が多くみられる。
		休日	11	9	20	11	81.8%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%		鉄道 (IGR) を利用し通学する学生に主に利用される路線となっている。
	巣子盛岡大学線	平日	1	2	3	17	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	64.7%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%		利用者の約7割が大学生であると見られ、盛岡大学・県立大学の発着が多く、富士見団地付近での乗降が多くみられる。
		休日																						
巣子箱清水線	平日	11	11	22	176	71.7%	11.6%	16.8%	0.0%	0.0%	11.5%	37.9%	18.4%	14.4%	6.9%	9.2%	1.7%	14.5%	60.2%	22.9%	2.4%		大学生の利用が多くみられる中で、30～50代の利用者が約3割程度おり、滝沢市内では富士見団地付近から盛岡市街地への移動がみられる。	
	休日	3	3	6	25	56.0%	8.0%	36.0%	0.0%	4.0%	4.0%	40.0%	20.0%	16.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%			
岩手県北バス	はんのき県立大学線	平日	2	0	2	7	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%		県立大学の大学生の利用が3割程度みられる。約5割が通院目的の利用となっているが、盛岡市内での移動手段として利用されている。
		休日																						
	巣子県立大学線	平日	6	4	10	44	38.6%	9.1%	50.0%	2.3%	0.0%	0.0%	46.5%	14.0%	11.6%	9.3%	14.0%	4.7%	19.0%	47.6%	33.3%	0.0%		大学生の利用が約半数程度みられる中で、買物・私用による利用割合が5割となっており、一般利用者が富士見団地付近から盛岡市内に移動する際に利用されているとみられる。
		休日	2	4	6	33	42.4%	12.1%	45.5%	0.0%	0.0%	9.4%	31.3%	25.0%	12.5%	12.5%	9.4%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%		
	滝沢駅線	平日	7	6	13	63	50.0%	12.9%	35.5%	1.6%	0.0%	6.3%	9.5%	31.7%	20.6%	17.5%	12.7%	1.6%	21.2%	54.5%	21.2%	3.0%		滝沢市内から発着した利用者は全体の約2割程度であり、滝沢駅付近から青山付近への通院手段として利用されている割合が多くなっている。
		休日	1	1	2	14	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%		
	盛岡大学線	平日	1	0	1	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%		※利用者数が少ないため利用実態は参考数値
		休日																						
	滝沢駅盛岡農高線	平日	0	2	2	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		※利用者数が少ないため利用実態は参考数値
		休日																						

## 4-1 アンケート結果

- ・「運賃の支払い方法」は「バスカード」が44.9%(313人)で最も多い。
- ・「最近のバス利用回数」は「週3日以上」が65.9%(446人)で最も多い。
- ・「バスの利用目的」は「通勤・通学」が70.2%(487人)で最も多い。
- ・「他の交通へ乗り継ぎ」は「いわて銀河鉄道」が50.0%(206人)が多い。
- ・「本市に必要なサービス」は「待合い環境の整備・充実」が25.5%(212人)で最も多い。
- ・「年齢」は「19～29歳」が42.5%(298人)を占めた。
- ・「性別」は「男性」が32.0%(222人)、「女性」が68.0%(471人)。

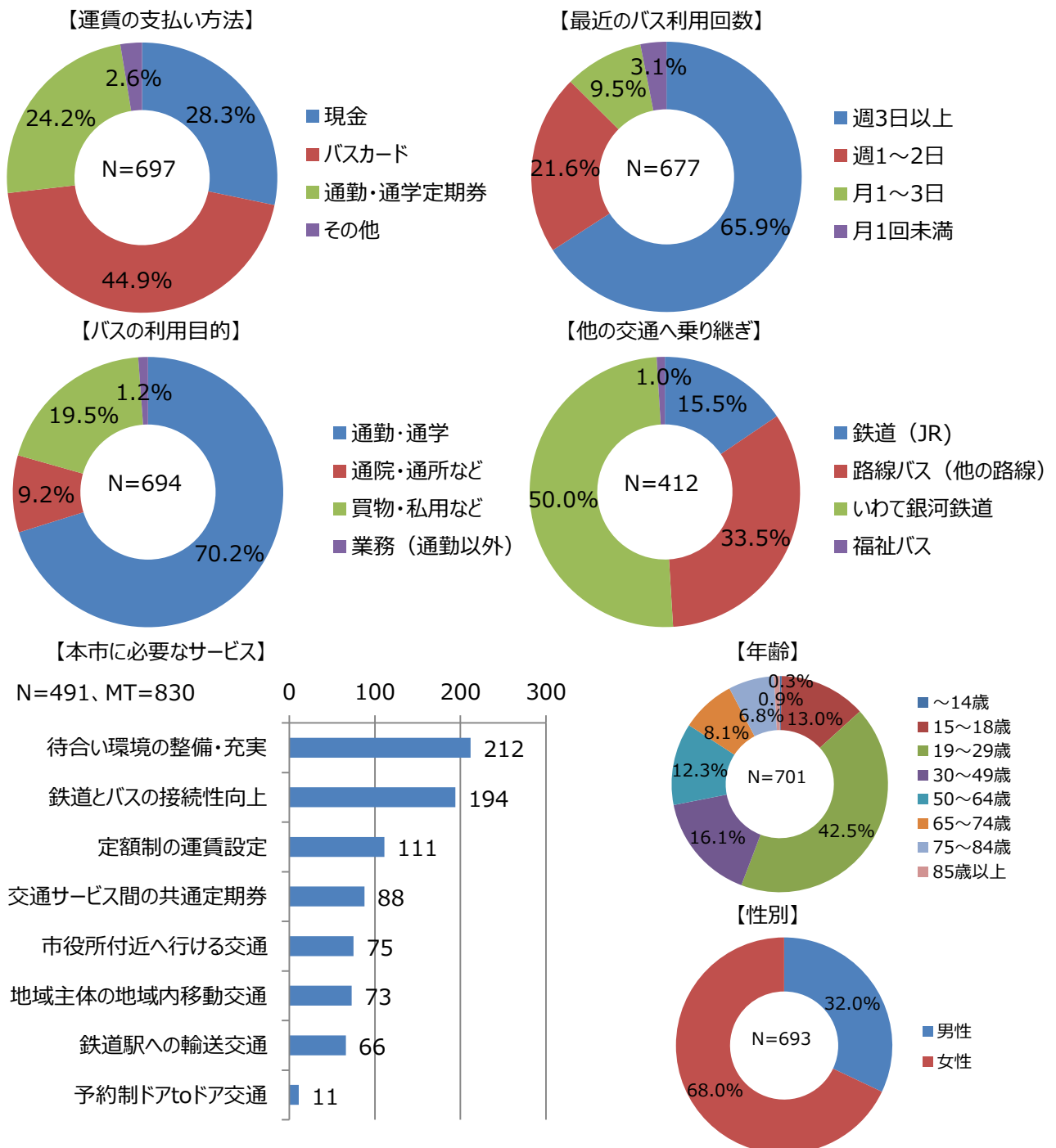


図 4-1 アンケート結果